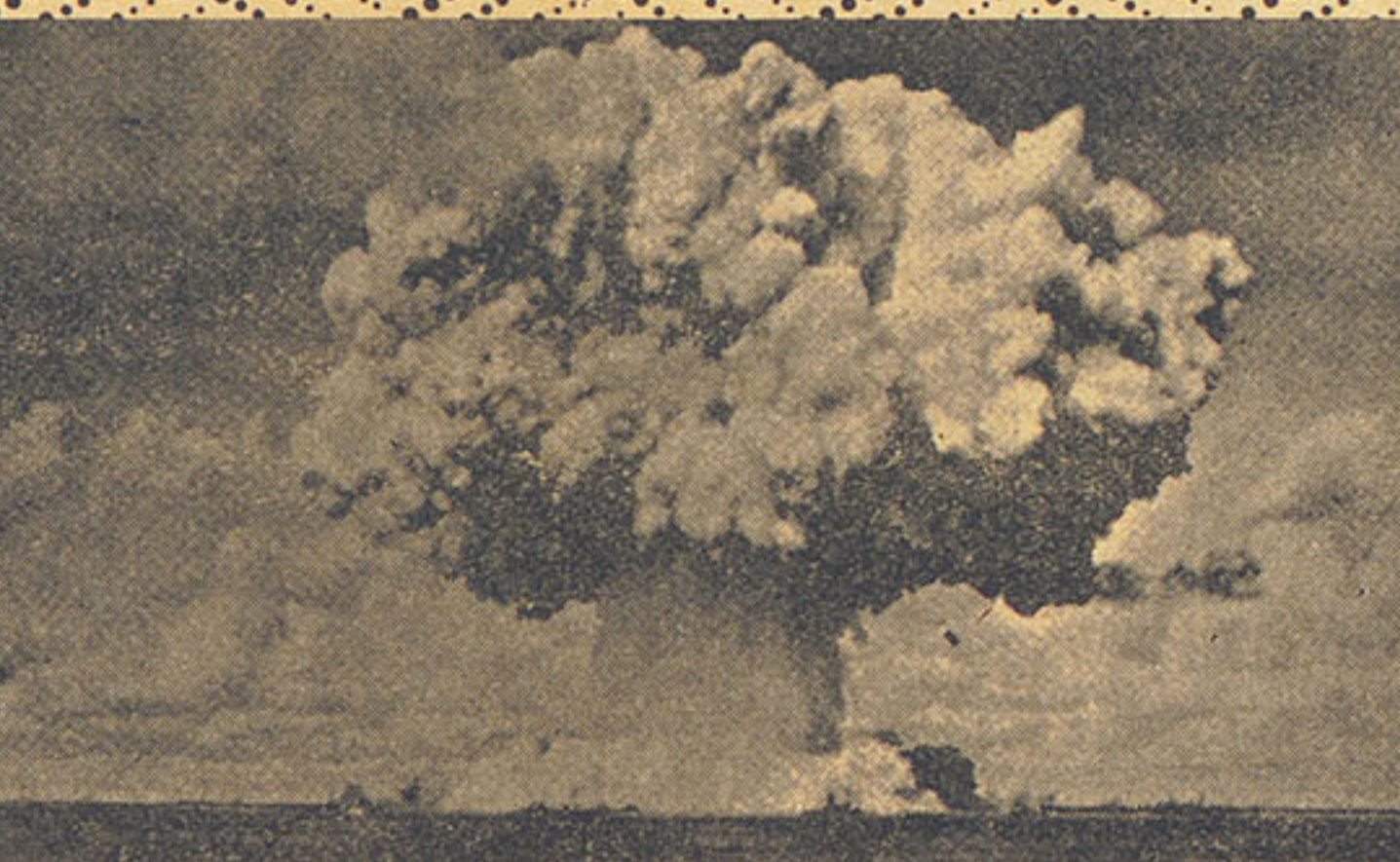


# 水爆実験特集

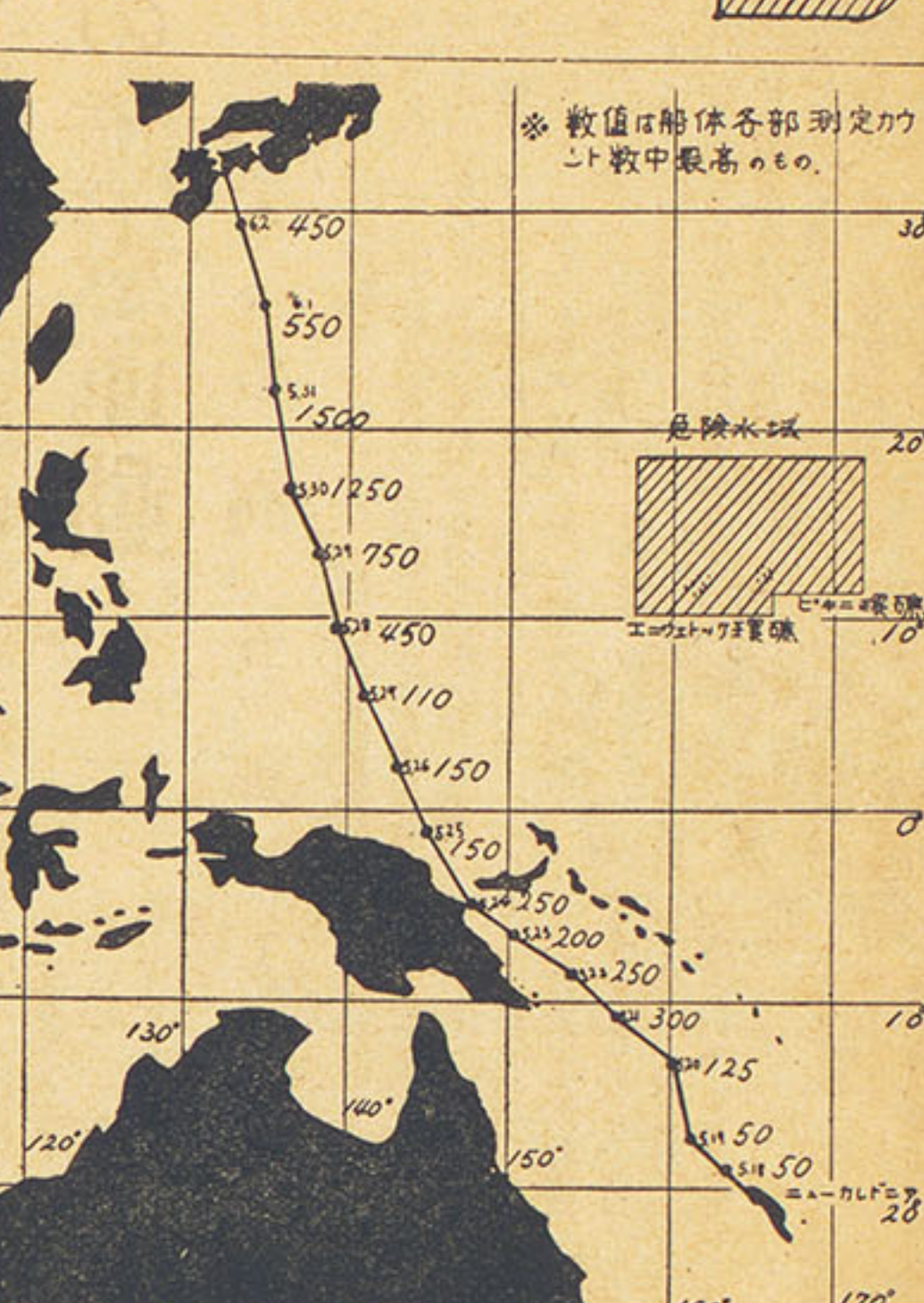
全世界の平和を願う良心の切なる願をよそに、マインヤル群島に於て、水爆の実験は行われ、附近航行の船舶、漁業関係者をはじめ、多くの人々に大きな恐怖を投げかけている。我々はこの実験が一日でも早く禁止される様に運動しなければならぬと共に、現実には、科学的に、危険を最少限度にいとめなければならぬ。

## 水爆実験と航海の影響

宇田道隆



水爆実験は、航海に多大の影響を及ぼしている。特に、船舶の航行安全に重大な危険を及ぼしている。水爆実験は、大気中の放射能を増加させ、船舶の乗組員や乗客の健康を脅かす。また、船舶の電子機器や通信設備にも悪影響を及ぼす。航海者は、水爆実験が行われる地域を避けるべきである。



長官(長官)の報告によると、水爆実験は、大気中の放射能を増加させ、船舶の航行安全に重大な危険を及ぼしている。特に、船舶の乗組員や乗客の健康を脅かす。また、船舶の電子機器や通信設備にも悪影響を及ぼす。航海者は、水爆実験が行われる地域を避けるべきである。

## 放射能対策はどうか

不安を生む知識の不足

放射能対策は、航海に重大な影響を及ぼしている。特に、船舶の乗組員や乗客の健康を脅かす。また、船舶の電子機器や通信設備にも悪影響を及ぼす。航海者は、放射能対策を講じるべきである。しかし、放射能に関する知識の不足が、航海者の不安を生んでいる。放射能に関する正しい知識の普及が、航海者の不安を解消する鍵となる。

## 費用は各社負担

放射能対策の費用は、各社が負担すべきである。特に、船舶の乗組員や乗客の健康を脅かす。また、船舶の電子機器や通信設備にも悪影響を及ぼす。航海者は、放射能対策を講じるべきである。しかし、放射能に関する知識の不足が、航海者の不安を生んでいる。放射能に関する正しい知識の普及が、航海者の不安を解消する鍵となる。

## 政府の明確なる態度を

政府は、放射能対策に明確な態度を示すべきである。特に、船舶の乗組員や乗客の健康を脅かす。また、船舶の電子機器や通信設備にも悪影響を及ぼす。航海者は、放射能対策を講じるべきである。しかし、放射能に関する知識の不足が、航海者の不安を生んでいる。放射能に関する正しい知識の普及が、航海者の不安を解消する鍵となる。

## 運輸省通達要旨

運輸省は、放射能対策に関する通達を出している。特に、船舶の乗組員や乗客の健康を脅かす。また、船舶の電子機器や通信設備にも悪影響を及ぼす。航海者は、放射能対策を講じるべきである。しかし、放射能に関する知識の不足が、航海者の不安を生んでいる。放射能に関する正しい知識の普及が、航海者の不安を解消する鍵となる。

## 放射能の測定単位

放射能の測定単位は、航海に重大な影響を及ぼしている。特に、船舶の乗組員や乗客の健康を脅かす。また、船舶の電子機器や通信設備にも悪影響を及ぼす。航海者は、放射能対策を講じるべきである。しかし、放射能に関する知識の不足が、航海者の不安を生んでいる。放射能に関する正しい知識の普及が、航海者の不安を解消する鍵となる。



## 守って行く自治の伝統

一日も早く東京へ

自治の伝統を守り、一日も早く東京へ。自治は、社会の発展の基盤となる。特に、船舶の乗組員や乗客の健康を脅かす。また、船舶の電子機器や通信設備にも悪影響を及ぼす。航海者は、放射能対策を講じるべきである。しかし、放射能に関する知識の不足が、航海者の不安を生んでいる。放射能に関する正しい知識の普及が、航海者の不安を解消する鍵となる。

## 越中島

便り

越中島の便り。越中島は、美しい自然環境と豊かな文化を誇る。特に、船舶の乗組員や乗客の健康を脅かす。また、船舶の電子機器や通信設備にも悪影響を及ぼす。航海者は、放射能対策を講じるべきである。しかし、放射能に関する知識の不足が、航海者の不安を生んでいる。放射能に関する正しい知識の普及が、航海者の不安を解消する鍵となる。

本誌の特集記事「水爆実験と航海の影響」は、宇田道隆氏による。水爆実験は、航海に多大の影響を及ぼしている。特に、船舶の乗組員や乗客の健康を脅かす。また、船舶の電子機器や通信設備にも悪影響を及ぼす。航海者は、水爆実験が行われる地域を避けるべきである。放射能対策は、航海に重大な影響を及ぼしている。特に、船舶の乗組員や乗客の健康を脅かす。また、船舶の電子機器や通信設備にも悪影響を及ぼす。航海者は、放射能対策を講じるべきである。しかし、放射能に関する知識の不足が、航海者の不安を生んでいる。放射能に関する正しい知識の普及が、航海者の不安を解消する鍵となる。



この写真は、放射能実験の様子を示している。実験は厳密に行われ、乗組員や乗客の健康を保護するための対策が講じられている。航海者は、放射能対策を講じるべきである。しかし、放射能に関する知識の不足が、航海者の不安を生んでいる。放射能に関する正しい知識の普及が、航海者の不安を解消する鍵となる。

放射能に関する正しい知識の普及が、航海者の不安を解消する鍵となる。航海者は、放射能対策を講じるべきである。しかし、放射能に関する知識の不足が、航海者の不安を生んでいる。放射能に関する正しい知識の普及が、航海者の不安を解消する鍵となる。

**TEL 16.17**  
港タクシー株式会社  
**K LINE**  
Liner Services  
Japan/New York Line  
Japan/West Coast, C. & S. America Line  
U.S. Pacific/South Africa Line  
Japan/Hongkong, Bangkok Line  
Japan Australia Line  
Japan/West Africa Line  
**KAWASAKI KISEN KAISHA, LTD.**  
HEAD OFFICE: 38 Akashi-machi, Ikuta-ku, Kobe Tel. (3) 7501/9  
BRANCHES: Tokyo, Yokohama, Nagoya, Osaka, Otsu, Shimizu

清水市港町1丁目1  
**清水交通株式会社**  
本社 電375・376番  
駅前営業所 電2,370番  
**日鐵汽船**  
社長 渡辺 一良  
副社長 太田 民治  
本社 東京・丸の内(丸ビル)

**三井船舶株式会社**  
代表取締役 一井 保造  
本社 東京都中央区日本橋區二丁目一  
電話 日本橋 二六二一  
丸の内線 七九八・一六九  
丸の内線 七九八・一六九  
丸の内線 七九八・一六九  
丸の内線 七九八・一六九  
丸の内線 七九八・一六九

**TK 東洋海運**  
代表取締役 市橋 俊夫  
東京都中央区日本橋區二丁目一  
電話 日本橋 二六二一  
丸の内線 七九八・一六九  
丸の内線 七九八・一六九  
丸の内線 七九八・一六九  
丸の内線 七九八・一六九